

## 国際教育協力の教育研究部門別協力テーマ案

### 1 調査・研究部門

目的：「学校運営、学級運営、生涯教育機関などの運営と行政に携わる者も対象に、研修に必要な調査・研究と資料収集」

社会の変化と現状認識に関する調査・研究

例えば、農耕型社会（騎馬型社会）、産業社会、情報社会に関する現状認識と達成及び持続可能な学習社会の構築に関する調査・研究

学校、社会教育施設を統合した生涯学習機関の管理と運営及び行政に関する現状と必要性の調査・研究

例えば、学校の計画的設置、教員の計画的配置の必要性はあるか？生涯学習機関の人員配置は？生涯学習社会への移行は可能か？

ユネスコの提唱する「学習の4本柱」を実現する具体的プログラムに関する調査・研究

例えば、生涯学習及びICT社会における学習、教育の意義と意味

総合科学（仮称）カリキュラム開発のためのテーマ（単元）構成に関する調査・研究

例えば、遺跡、文化財、インディジェナスな知識・慣習など

自己学習（所員自身の研修と現職教員の学習の2者）を可能にするプログラム学習書（印刷教材PI）の開発のための内容に関する調査・研究

例えば、教科、全体構成、単元計画、利用可能な資材 - 副教材・教具、実験資材など -

モジュール方式による科学・技術・数学等の所員及び現職教員（主に初等教育レベルの研修プログラムの構成に関する調査・研究

学校や社会教育機関等の教員や指導者が身近な素材や身の周りの自然物を使って教材開発を行う手法の研修及び習得に関する調査・研究

遠隔教育と遠隔学習の意義と可能性に関する調査・研究

例えば、遠隔教育の基盤は、あるか？短期的、長期的な計画整えられるか？コンピュータやインターネットの基盤は？ICT(information and communication technology)の現状は？

インディジェナス(indigenous)な知識・慣習等の収集とデータベース化及び活用方法に関する調査・研究

教育の近代化が政治・経済・文化の保存・発展等に及ぼす影響に関する調査・研究

両親の教育水準（学校教育の内容に関する知識の質と量）が子どもの学習意欲に及ぼす影響に関する調査・研究

システムズアプローチの教育への導入に関する調査・研究

例えば、工学的発想による教育の改善及び効果研究

論理的思考の育成プログラムに関する調査・研究

## 2 研修活動部門

目的：「初等・中等レベルと社会教育機関における現職教員の再教育についての実践」

身近な素材や身の周りの自然物を使った視聴覚教材教具の開発方法に関する研修

視聴覚教育メディア（印刷機材を含む）の操作、取扱いに関する研修

教科書、印刷資料、テレビ番組などの効果的な活用に関する研修

ICTの活用に関する研修

例えば、マルチメディアとインターネット（ホームページ作成を含む）の授業における活用に関する研修

学校経営、授業計画・実施・評価、あるいは、社会教育機関における運営・評価に関する研修

統計処理を含む調査・研究方法の基礎・基本に関する研修

（司書教諭のための）図書館あるいは学校図書室の管理・運営に関する研修

インディジェナスな知識や活動を重視する授業計画の開発に関する研修

ユネスコの提唱する「学習の4本柱」を実現する具体的プログラムに関する研修

## 3 教材開発部門

目的：「教員再教育のための教材を開発・作成」

研修部で活用する教師用VTR教材の計画的な開発

例えば、算数・理科・外国語・社会科・技術家庭・ICTの活用方法等に関する模範授業のビデオの開発

学校及び社会教育機関で活用する教師用印刷教材及びVTR教材の計画的な開発

例えば、動機付けの方法、学習意欲の向上方法、ICT時代の学習、科学技術の過去・現在・未来と生活の変化、ICTの活用方法等に関する印刷教材・資料あるいはビデオの開発

身近な素材や身の周りの自然物を使った教材教具の開発方法に関するビデオの開発及び具体的事例集（モノと印刷物及びビデオ、CD-ROMなどICT）のパッケージの開発

ただし、総合科学の視点が不可欠である。

生涯学習の観点からの事例を含む各種マニュアル（実験機材、VTR機材を含む設置機材の利用事例印刷物）の開発

ポスター、掛図の開発

遠隔教育・遠隔学習を効果的に推進するためのビデオ教材・ビデオマニュアルの開発

インディジェナスな知識・慣習などの収集とデータベース化及び授業での活用事例集の開発

マルチメディアとインターネット（ホームページ作成を含む）の授業における活用事例集の開発

著者注：本稿は、対ホンジュラス国の「JICA教育研究協力」(ホ国立教員研修所 INICE、1992-1994)のための「ホンジュラス国教育研究(協力)テーマ - 第3次案 - 」として作成され、やや変更を加えた後に、R & Dに英文で、記載された内容をもとに、ユネスコの最近の重点協力事項などを追加している。